



「ちばのいいとこ見つけた！」 ちばのお宝再発見



千葉県立中央博物館大利根分館との共同企画展



▶ (左から) 伊藤 左千夫・寺田 憲・長塚 節

千葉県神崎町の醸造家「寺田本家」当主であり、歌人でもあった寺田憲 の作品や、親交のあった文人たち（伊藤左千夫・長塚節・佐佐木信綱・与謝野鉄幹・石樽千亦・土屋文明・香取秀真・高橋刀畔・斎藤茂吉ら）の作品・書簡などを紹介。

「寺田家文学資料」をとおして、千葉県に存在する“お宝”にふれ、ちばの魅力を再発見してみませんか。



▶ 夏目漱石 書簡

利根川と文学 寺田憲とその周辺

開催日時 平成30年**10月17日(水)** ~ **11月4日(日)**

午前**9時** ~ 午後**9時**

※期間中の月曜日は休所日

会場 さわやかちば県民プラザ 1階 県民ギャラリー

入 場 無 料

主催：さわやかちば県民プラザ

協力：千葉県立中央博物館大利根分館

寺田 憲

(てらだ けん) 明治 15(1882)年～昭和 12(1937)年

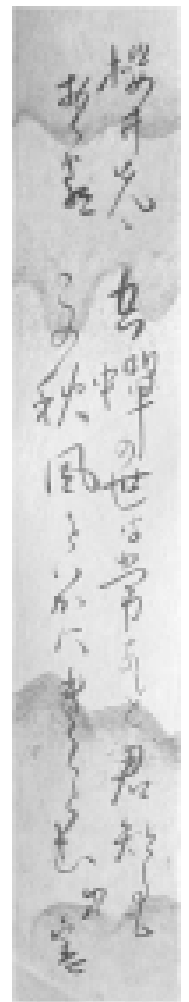
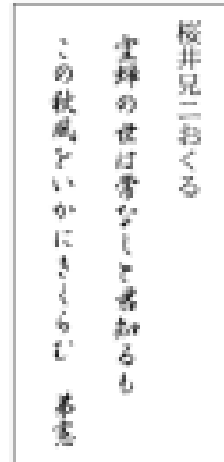


神崎町の寺田家当主で、酒造業を営みながら明治から昭和にかけて、伊藤左千夫・長塚節・土屋文明ら近代の歌人たちを陰で支えた人物です。みずからも短歌を詠い、絵や写真などを好みました。寺田は、17歳で同人誌『心の花』に参加すると同時に歌風の違う『明星』にも参加し、積極的に歌人として活動していきます。彼の短歌は約570首あり、『馬酔木』『明星』『アララギ』『アカネ』において発表しましたが、最も多くの作品を発表したのは、佐佐木信綱主宰の『心の花』(317首)及び歌集『利根川』(100首)でした。

また、憲の交友関係は近代文学で名を残す著名な文人が多く、伊藤左千夫・長塚節・佐佐木信綱・与謝野鉄幹・石樽千亦・土屋

文明・香取秀真・高橋刀畔・斎藤茂吉らとの書簡が当家に残されています。

なかでも、房総出身の歌人である伊藤左千夫、同郷の友人である長塚節、歌の師である佐佐木信綱からは100通を超える書簡が残されています。書簡の内容は歌の添削、近況報告、機関誌発行の寄付だけでなく、身内のことの相談や金品の受け取りの礼状など多岐にわたり、寺田が物心両面で彼らを支えていたことがよく分かります。



【最寄駅からバスでの行き方】

最寄駅	バス会社	乗り場・ゆき	最寄バス停 (乗車時間)	プラザ まで
柏駅 〔JR常磐線 東武アーバンパークライン〕	東武バス	西口バスターミナル2番乗り場 (西柏01系統)「県民プラザ」ゆき または「県民プラザ経由国立がん研究センター」ゆき	県民プラザ (約20分)	徒歩 約1分
江戸川台駅 (東武アーバンパークライン)	東武バス	東口バスターミナル(西柏04系統) 「国立がん研究センター経由柏の葉キャンパス駅西口」	駒木台北 (約10分)	徒歩 約5分
		東口バスターミナル(西柏10系統) 「みどり台経由柏の葉キャンパス駅西口」ゆき	東大西門前 (約15分)	徒歩 約5分
柏の葉キャンパス駅 (つくばエクスプレス)	東武バス	西口バスターミナル(西柏03系統) 「流山おおたかの森駅東口」ゆき	県民プラザ (約15分)	徒歩 約1分
		西口バスターミナル(西柏04系統) 「江戸川台駅東口」ゆき	東大西 (約10分)	徒歩 約5分
流山おおたかの森駅 〔東武アーバンパークライン つくばエクスプレス〕	東武バス	東口バスターミナル(西柏03系統) 「柏の葉キャンパス駅西口」ゆき	県民プラザ (約20分)	徒歩 約1分
	流山 グリーンバス	西口バスターミナル 美田・駒木台ルート	県民プラザ前 (時計回り 約11分) (反時計回り 約16分)	徒歩 約2分



【車で来所の方】

国道16号「十余二工業団地入口交差点」
から約5分(約2.5km)
国道16号「呼塚」交差点から約20分(約7km)
*駐車場283台(最初の1時間無料、
以後1時間毎に100円 (大型車300円))

【問い合わせ】

さわやかちば県民プラザ

〒277-0882 柏市柏の葉 4-3-1

TEL 04-7140-8615

URL <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/>

